

都留の野ぼとけ(六)

観世音菩薩

鈴木茂治

今回は「三十三観音」を紹介しましたので、今回は、路傍や門前などに独り立ちしていらっしやる観音さまをお知らせしましょう。

観音さまの本当のお名前は「観世音菩薩」で、道行く人の願いに応じて、救いの手をさしのべてくださる慈悲深い野ぼとけさまです。

市内には今のところ、三十三観音を除いて十四体の観音さまが残されています。そのうち、立像碑は六体、文字碑は八基あります。

聖観世音菩薩

市内にある観世音立像はいずれも聖観音さまです。頭に阿弥陀さまの化身という宝冠をかぶり、手には蓮の花を持って立っていらっしやいます。



上谷・普門寺前・聖観世音菩薩

写真の普門寺の前の聖観音さまは、市内では最古・最大のもので、刻字は所々欠けていますが、「諸願成就、観世音菩薩、元禄十二(一六九二)歳次己卯、九月吉祥日」と読めます。立像の高さは一四〇センチメートルもあります。

常念観世音菩薩

文字碑のほうの観音塔は、ほとんどが「観世音菩薩」とだけ大きく彫ってあるので、たいへん分かりやすい塔です。

ところが、以前紹介した滝下の不動さまのように、一つだけ分りにくい観音さまがあります。それが写真の、田野倉のお経塚(大原橋の南の国道脇)にある観音さまです。これは梵字ではなくて、ちゃんと漢字で「常念(中心に長く三字に見えるが実は二字)観世



田野倉・経塚・常念観世音菩薩

音菩薩」と書いてあるのです。「常念観世音」とは「絶え間なく心の中に観音さまを思い続けましょう」という教えだそうです。

この観音さまが有名なのは、この字を書かれた方が「白隠禪師」という江戸時代中期の偉いお坊さんだからです。

白隠さんは、日本全国を廻り歩いて、この常念碑に見られるような力強い筆勢の書面を、各地に残しています。小形山の禾生第二小学校上の四つ辻にある「三界万善」の大きな字も、白隠さんの筆になるものです。

常念観音さまの碑裏には「安永五(一七七六)丙午年霜月(十一月)上旬、白隠禪師正筆」と刻まれています。

市内の文字観音塔はこのほか、大幡広教寺前・同岩崎路傍・与繩天正寺前・下谷羽根子入口・上谷普門寺前・夏狩耕雲院前などに残されています。

都留文科大学公開講座

今年の都留文科大学公開講座は、「異文化を理解するために」と「コンピュータ入門」の二講座を開講します。市民の皆さんの多数の参加をお待ちしています。

【異文化を理解するために】

異なった文化に触れ、異なった文化を理解することは、自分自身や我が国に対する理解を深める鍵となります。この講座では、比較文化学科の専任教員が皆さんを異文化に招待し、異文化を理解するための方法を皆さんとともに考えます。

日程 第1回 9月30日

第2回 10月7日

第3回 // 14日

第4回 // 21日

第5回 // 28日

開講時間 午後1時30分~4時30分

講師 都留文科大学

比較文化学科専任教員

会場 都留文科大学コミュニケーションホールB一階談話室

受講料 無料

受講人員 30人

定員になり次第締め切ります。

申込期間 9月1日~25日

【コンピュータ入門】

今までパソコンやワープロなどほとんど触れた事もない人に、少

しでもコンピュータに興味をもってもらい、理解してもらうために、最新のマルチメディア機器を利用して、パソコンの基礎知識を習得してもらいます。

日程 9月25日~29日

開講時間 午後7時~9時30分

講師 都留文科大学教員・情報センター職員

会場 都留文科大学2号館四階

コンピュータ室

受講資格 高校生以上のパソコン初心者

受講料 2000円

(テキスト、フロッピー代)

受講人員 40名

定員になり次第締め切ります。

申込期間 9月4日~20日

☆公開講座の申込・問合せ

都留文科大学総務課入試広報係

☎(43)4341(内線209)

※なお、前記二講座の他に「コンピュータ講座(中級)」を十一月に開講する予定です。

